

右翼に蹂躪された

2016年8・6ヒロシマ

デマと妨害をはねのける反戦反核運動 をつくろう！

松本朗

(1) 今年も8月6日広島と8月9日長崎への原爆投下71周年反戦反核行動に参加しました。毎年、行われるこの2つの行動は核兵器による凄惨な犠牲を忘れず、2度と戦争をおこさないと誓う日です。また、原爆祈念公園の中の碑には「安らかに眠って下さい 過ちは繰返しませぬから」と戦争はまちがっているのだということを記しています。

ところが5年ほど前から、8月6日とのその前日頃から在特会などの排外主義右翼が原爆ドーム付近に登場し、「日本は核武装せよ！」などと主張する街宣を行うようになりました。また、これとは別に2009年の8月6日を最初に日本会議広島が、「ヒロシマの平和を疑う」と称して核武装の必要性を主張するような講演集会を毎年行っています。今年は桜井よしこを講師に招き、リーガロイヤルホテルで1300人の参加者のもと行いました。(昨年は過去最大の1900人が参加)

(2) 「8・6 ヒロシマ」は日本だけではなく世界の民衆にとって絶対に戦争を繰り返さない、核兵器の廃絶を実現しなければならないと誓う日であり、また、さまざまな行動や平和のための学習を行う特別な日です。そのような日に、そのような場所で、日の丸と拡声器をもった右翼が原爆ドーム前で、その近くの会場で核武装推進の声を上げるといった事態が起こっているのです。在特会にいたっては、ただの宣伝ではなく8月4日から原爆ドーム前で犠牲者追悼の祈りを行う仏教僧や原水禁の平和行進本部テントに対して口汚くのしるなどの妨害行為を行いました。

(3) 毎年8月6日当日の反戦反核行動は、朝7時30分頃からドーム前で平和集会を行い、原爆



ドーム前の市民集会

が投下された8時16分にあわせてダイ・インを行い、その後、中国電力ヘデモ行進と座り込みという行動を行うものでした。しかし、この6日当日の行動に対しても5年ほど前から在特会などの右翼が妨害行動を行うようになったのです。それは原爆ドームのある公園入り口付近に14~5人が陣取り日の丸を振りながら拡声器を使って集会参加者へ口汚い野次をとばして妨害するというものでした。その後、右翼勢力は午後から同じ原爆ドームで集会を行い「核武装推進デモ」なるものを行うのです。

(4) この妨害は年々ひどくなりました。最初は入り口付近で妨害を行っていたものが、回を重ねることに公園の中に入ってくるようになりました。2014年には集会が終了した後、数人が真ん中まで入り込んでデモ出発前の参加者の耳元で罵声を浴びせるというようなことを行いました。そして在特会は引き上げる時、わざわざドームの前を通って野次をとばしながら帰っていったのです。そして今年、2016年になると右翼勢力はなんとドーム前のど真ん中に陣取って妨害行為を行ったのです。

(5) この時、広島市はドーム前の広場に向かって右側に一定の場所を柵で囲み、その中で反核行動の集会とダイ・インを行わせました。逆の左側にも同じく柵で一定の場所を囲み、そこで右翼と同じく5年ほど前からドーム前集会を行うようになった8・6ヒロシマ大行動実行委員会に集会をやらせたのです。そしてちょうど真ん中の原爆ドームの真ん前の空いた場所に右翼が陣取り、集会



ドーム前に陣取る右翼

への妨害行為を行ったのです。この日、登場した右翼は在特会ではなく「日本暁の会」「反日左翼殲滅集団」を名乗る団体でしたが在特会と同じような人たちでした。人数もいつもより少なかったにもかかわらず、ここまで露骨に妨害を行えたのは警察の協力があったはじめてできたのであって、もうこれは警察と右翼の共同行動としか思えません。わざわざ右翼のために、ど真ん中の場所を提供し、さらに右翼を守るために警察も大量に公園内に入りこむという事を行ったのです。

(6) 今まで8月6日の広島において、しかも原爆ドームの前でここまで右翼と警察の妨害を許したことはないのではないのでしょうか。この時の右翼勢力の主張は「核武装推進」ではなく「黙とうの日に大騒ぎするのは許せない」「中核派の集会に反対する」というものになっていましたが、「場所と安全」を警察に保証してもらった上での、全ての反戦反核行動を潰すためのものであり、反戦反核勢力に対する一線をこえた攻撃であることは明らかだろうと思います。この事態に対して強い危機感と屈辱を感じざるをえません。平和と核兵器廃絶を誓う「8・6ヒロシマ」の行動と魂を破壊しようとする警察と右翼勢力に対する反撃を全国の労働者民衆の力でつくりあげなければなりません。

(7) そもそも右翼勢力の主張は「中国や北朝鮮が核兵器で日本を攻撃しようとしている」「日本を守るため」「反戦反核を主張する団体はアメリカなどの核兵器廃絶を主張するが中国や北朝鮮の核兵器には反対していない」といった都合のい

ように解釈したデマであり、日本会議においては「9条や平和を主張しても世界にはテロや戦争が起こっている。」「だから反核平和は無力」というようなシロモノです。

(8) 世界最大の核兵器保有国であるアメリカと同盟国であるのが「我が日本」であるというのがわからないのでしょうか。世界にテロや戦争が蔓延したのは、その原因のほとんどがアメリカによって生み出されたものです。そうであれば同盟国である日本に生きる民衆のとるべき立場は最初にアメリカや同盟国の核武装を批判しなければならないはずで、中国や朝鮮の核武装に反対するとき「日本の核武装推進」を叫んでなんの説得力があるのかという事です

(9) 核兵器廃絶の願いが「国を守るため」というデマゴギーの前に潰されるような事があっては絶対にならないし、国家によって欺かれるような事を絶対に許してはならない。来年もまた「8・6ヒロシマ」と「8・9ナガサキ」がやってきます。日本会議や在特会、右翼勢力のデマゴギーをひとつひとつ暴きだし、妨害を許さない闘いを取り組んでいきましょう。

「8月6日、ストップ改憲！新聞意見広告」毎年、早朝から平和公園周辺でこの意見広告を配布します。